

今、新規採用職員や組合員を歓迎する行事が職場や組合で行われている。大阪自治労連医療部会の新採歓迎バーベキュー大会が岸和田のいよやかなの郷で開かれた。130人が参加して焼肉などを食べながら、楽しいひと時を過ごした。写真は左から栢木さん、豊永さん、玉井さん。泉佐野市職労病院支部の新採さんだ。



いつも輝いていたから
大阪自治労連でV!

大阪自治労連医療部会の新採バーベキュー

「組合説明会などで府労委命令一大阪市バス労組」「2005平和行進大阪コース」(2・3面)、「NPTニューヨークレポート(下)」川崎 隆さん(4・5面)、自慢の一品「構光製作所」(6・7面)、さわやかな風「門真に新しい風を」河原林 昌樹さん(8面)



門真に市民参加の新しい風吹かせたい



さわやかな風
197
弁護士 河原林 昌樹さん(43才)
《門真の未来とまちづくりを考える》
《市民の会代表(略称:未来の会)》

6月19日告示、26日投票で行われる門真市長選挙。大阪自治労連は5月11日の中央委員会で弁護士の河原林昌樹さんの推薦と応援することを決めた。「人権を擁護し、社会正義の実現を使命として、社会的弱者を救済したい」と、自分の仕事に誇りをもち、情熱を注いで12年。今、門真市民のために立ち上がる河原林さんだ。

守口市との合併問題では市民の先頭に立ち奮闘した「未来の会」

「立候補の決意を押し出した思いは、やはり守口市との合併問題。門真市という自治体がなくなる。そんな大事な問題を住民の声を聞かずに議会と合併協議会だけですめようとする、それが許せなかったんです」
 門真市は守口市との2005年合併を推し進めようとしていた。河原林さんは、02年の11月に結成された『門真の未来とまちづくりを考える市民の会』の代表を始め、合併の是非は住民に問うべきだとして住民投票の実現に向けて運動を進めてきた。

守口市は50%を超え、結果は9割近い市民が反対。門真市は50%を超えなかったため、規定により開票されなかったが独自の出口調査の結果、開票結果は守口と同じだろうと予想された。現市長は、合併問題に政治生命をかけると言っていたが、その公約は破たんしたにもかかわらず、どう責任をとるのか、反省の弁もなく、市政の継続を言い出している。
 「住民投票の運動を背景として、市長を替えて市政のあり方を変えてほしいという流れの中、私も決意したという訳なんです」

判事が諭した『君たちが弁護士として充実した仕事をしたいと思うならば時代の苦悩にかかわることが必要だ』という言葉。地域にかかわることも含まれているんですよ」
 趣味は、ジャズを聴くこと。ラテン系の音楽も好むのはメキシコ人の奥さんの影響。弁護士事務所で外国語を習得しようと教わったのが知り合ったきっかけとか。「彼女はあけっぴろげでストレートな性格ですよ。僕が決めたことを最大限尊重して、応援してください」
 「どんどん支援にきてください。市民の人たちには、まず選挙があるんだ、行かんアカンねんという自治意識をもってほしい。自分たちの街は、住民や職員1人ひとりが協力し合ってつくっていく。そんな門真市に新しい風を吹かせられるよう微力ながらがんばりたい」。どこまでも住民自治を大事にしたい河原林さんだ。



直接請求をする河原林さんたち

弁護士になったのは
 「もともと上から言われて仕事をするタイプじゃなかったですね。自己主張が強いというか。自由に自分のやりたいことができる、ということで弁護士を目指しました」
 弁護士として座右の銘としているのは、「連邦最高裁のホームズ

編集後記 「地方公務員の政治的行為に懲役刑を含めた刑事罰を科す」という地方公務員法等の一部改正法案を、自民党は今国会提出しようとしている。国民主権の原理、表現の自由の保障という憲法違反は明らかで必ず阻止を。これが通れば、時間外に政治団体のビラを家の近くで配ると刑事罰の対象となる。